

# 「これからの市立小中学校を語る地域別懇談会」 結果報告

[大住中学校区] 令和5年11月18日(土) 場所：市立松井ヶ丘小学校体育館  
[田辺中学校区] 令和5年11月26日(日) 場所：市立コミュニティホール  
[培良中学校区] 令和5年12月 3日(日) 場所：市立田辺東小学校体育館

---

## ■当日いただいたご意見等（とりまとめ）

(1) 大住中学校区 .....	2
(2) 田辺中学校区 .....	6
(3) 培良中学校区 .....	13

■アンケート調査結果 .....	18
------------------	----

## ■当日いただいたご意見等（とりまとめ）

No	中学校区	主なご意見
1	大住中学校区	<p>（小規模校は）クラス替えがなく、子ども達のキャラクター設定が続いていく。安心できる時もあるが、自分を変えることが難しい。クラス替えがないと親密になるし、保護者も子どもも仲良くできるという利点はあるが、心の変化がある年代で、環境が変わる、友達との間柄が変わることに対応していくことも必要。PTAについては、同じ保護者が役員を歴任する。保護者にとって役員になることは、負担が大きいのが現状。共働きという家庭も当たり前のなか、時間が取れない。人数が少ないと、そういった問題がある。</p>
2	大住中学校区	<p>培良中学校や普賢寺小学校といった具体的な名前が出ていたが、培良中学校に通うのは大変だと思う。培良中学校がもっと素敵な学校に変わったとして、行く時にどうして行くのか。自転車の話もあったが、通学距離がちょっと遠い。費用がかかることだが、朝晩に通学バスを2往復するくらいの通学ルートをつくってはどうかと思う。</p>
3	大住中学校区	<p>市内に3中学校区あるが、地図で見ると3中学校がうまく配置されているように感じた。それぞれの中学校に各小学校区があるが、人数が少なくなっている小学校区と、人数が増加している小学校区とが混ざり、1中学校区内で少なくなっているところもあれば、増えているところもあり、将来に向けて統合ということになると、難しい気もする。</p> <p>京都市内であれば、比較的小学校区が近い距離にある関係もあり統合という話になるのではないか。大住小学校でだんだんと子どもの数も少なくなっている。かつては児童も多い学校であった。現在、1学年1学級でさみしい状態になっているが、子どもたちは地域で仲良しだという印象がある。</p> <p>地域で「子ども文庫」活動を長年続けているが、来る子どもたちの人数が少なくなっている。どうしたら子どもたちに放課後、地域の文庫に来てもらえるか、色々知恵を絞りながら頑張っている。</p>

No	中学校区	主なご意見
		いる状況である。
4	大住中学校区	<p>小さい学校だからこそその先生との距離感の近さ、よく見ていただけるありがたさがある。一方で、PTAは長く務めることとなる。時代も変わり、働いている人がほとんどで、やれるような形でPTA活動ができればと思う。</p> <p>また、大住小、大住中と言えば文化も根強い。隼人舞もあり、100年を超えての歴史を継承している。また、桃園小等ピークを過ぎ減少していく学校もあるが、まだまだ京田辺市の人口は増加しており区域編成を変えるのは難しい。</p> <p>普賢寺小学校や培良中学校で進めている取組や、伝統を学ぶ、高齢化が進んでいる地域の方々との触れ合いを生かせるような学習を進め、多方面からの受け入れ態勢を整えれば公共交通機関等を活用しながら学校を選択するということもあると思う。大住幼稚園はこども園化しよくなったと聞くが、そのまま大住小学校に行けるかということそうではない。スクールバス等があれば、同じ小学校に行けるのでは。</p>
5	大住中学校区	<p>登下校の見守りも、保護者での対応が難しくなっている。仕事と両立されている保護者が多いので、登下校の時間に出られない。子どもの数に関係なくそれは一緒だと思う。見守りをお願いする地域の方々、見守りボランティアも年配の方お願いすることが多い。夏の暑い時は頼みにくくなっている。代わりに保護者が出るとなるとまた負担となる。子どもの安全を守るために、登下校の見守りをどうしていくのか。これは大事な問題になる。</p>
6	大住中学校区	<p>地域の見守り隊もなり手がだんだんと高齢化している。この先どうなっていくのか心配がある。現実になってほしい若い人たちは、現役の勤めをされていることもあり、なかなか難しい。特に小学生の帰りを心配している。防犯カメラを設置するように強く要望しているが、なかなか実現しない。</p>

No	中学校区	主なご意見
7	大住中学校区	<p>地域の方には下校時の安全ボランティアでお世話になったり、田植えや稲刈り時にも協力いただいている。地域の方を教師としてお招きして子どもたちに教育していただけるような場を、これからどんどん増やしていきたいと学校でも言われていた。歴史のある学校では、地域のつながりもたくさんあり、上手に取り組んでいると思う。</p>
8	大住中学校区	<p>P T Aと自治会が非常に密に連携を取っているところもあれば、そうでない地域もある。学校が地域との間に立ってやっていただければと思うが、学校の先生も非常に忙しく、なかなかそこまで手が回らないのが現実である。これも一つの大きな課題だろうと思う。</p>
9	大住中学校区	<p>自治会の方からも学校に声をかけてもらおうとか、中学校の方からも自治会にこういうことを一緒にやりませんかという話し合いができれば、地域とのかかわりが出てくるのではないかと思う。</p> <p>現実的には中学校では地域とのかかわりはあまり感じない。やっていることは、年に1回、地域防犯推進委員連絡協議会の方と一緒に徒歩でパトロールをしている。ただ、最近の子どもは塾に行って、夜に外に出る子どもが少ない。そんな中同じようなパトロールをすることについてもどうなのか。一緒に協働するにしても、やり方は色々変えていかないといけないのではないか。子どもの見守りのことについても、防犯推進委員の方は高齢になって、次にしてくれる方がいない中で、新たにやってくれる方をどうやって増やしていくのか。学校によってはお金を払ってシルバーに依頼している学校もあると聞く。京田辺市全体で子どもを守っていく必要がある。「ながら見守り」という取組があるが、犬の散歩を子どもたちの登下校の時間に合わせるとか、一人一人ができることをやるということを考えていければと思う。</p> <p>また、小学校時代に小規模校でのびのび学校生活を送れるのはいい利点だが、友達は限定される。その後、中学校に進学した際、今まで50人位だったのが、500人になって人間関係が築けなくなってしまうことがある。やはり1学年3クラスくらい的人数が一番いいのではないかと思う。</p>

No	中学校区	主なご意見
		<p>学校教育審議会の中間答申では、田辺中学校と培良中学校について言及されているが、大住小学校の児童数の減少も大住中学校区に住んでいる者として解消していただきたい。</p>
10	大住中学校区	<p>基本的には今の通学区域を残し、市内どこからでも通える（選択）制度があればと思う。  反対に、学級数や学校施設、環境面で等しくするというの一番難しい。学校の人数もだが、地域とのつながりという点もある。  児童数が減少している大住小学校であれば、以前は大住ヶ丘四丁目と五丁目が校区であったので、そこを大住小学校へ戻すというような対応を今後、検討してはどうか。地域とのつながりという観点では、大住小学校も桃園小学校も、大住中学校に行くことになる。非常に難しいとは思いますが、そういうことも検討してはどうか。</p>
11	大住中学校区	<p>児童数の偏在ということは、学校ごとで人数のバランスが悪いということ。であれば、学校区の変更しかない。学校区の変更は、そう簡単には変えられないが、人数の偏在の解消はできるのではないか。</p>
12	大住中学校区	<p>松井ヶ丘小学校の中でも、越境して少人数の大住小学校を選択したいという声がある。偏在化の解消を目的とするなら、越境という形は取り入れていくべき。  子育て支援も、北部・中部・南部と分かれたくくりをしているので、その単位で越境ということ視野に入れて考えていただけたらと思う。</p>
13	大住中学校区	<p>小規模校の保護者の方がすごく大変だと思った。PTAの役員、子ども会の役員も担われて、それと登下校の見守り隊もされている。以前は、見守り隊は地域のボランティアが多数いたと思うが、高齢化でその人数も少なくなっている。見守り隊を担う人の募集、呼びかけも今までなかったように思う。地域には、まだまだ人材がいると思うので、その呼びかけを自治会を通して行えばいい。</p>

No	中学校区	主なご意見
14	大住中学校区	<p>市全体で、松井ヶ丘に住んでいても、大住小学校の見守りに行ってもおかしいことではない。人材があれば、自分が住んでいる地域以外でもいいと思う。有償での対応もあるが、社会を明るくする運動の団体や、保護司会の皆さんとか、京田辺市の中で、子どもたちをみんなで見ていこうという団体があると思う。地域の方も、自治会の方もそうだが、そういう所のつないでいくような声掛けを、先にさせていただくのも一つの案ではないか。</p>
15	田辺中学校区	<p>三山木小学校の保護者間では偏在問題についての意識が高く、チラシ配布やアンケートを行っている。それくらい三山木校区の問題は深刻である。児童が多く校庭で遊べる休み時間が学年で決まっている。京田辺市の他の小学校に比べて、一つの学校だけがこれだけの不利益を被っているということは、教育格差が起こっていると思う。</p> <p>市教育委員会は「児童増加は一過性のもので学校生徒は仮設校舎で対応」としているが、それは児童を収容する入れ物として、教室数があればいいという見解である。学校生活を送る子ども達にとって、質のいい学校生活を送れているかは疑問である。</p> <p>また、これほどの模校だと、命の危険があるのではないかとと思っている。避難訓練も人が多くて危険だったなどの意見が子どもたちからあった。</p> <p>地域のコミュニティとしての学校ということだが、児童がいる状態でもし地域住民の方が避難してきたら、果たして入ることができるのかどうかという問題もある。地域の方々に降りかかる問題でもある。田辺中学校に関しても、自転車通学、徒歩での登下校ともに人数が多いと事故の可能性は高まる。</p> <p>また、オートロックが学校に設置された経緯として、不審者が入ってくるかもしれない危険性もあると思うが、それならなぜ校区外にグラウンドを設置したのかと思う。</p> <p>こうした問題を、何かあった時に想定していなかったのではなく、事前にいろいろ考えていたから子どもたちの安全を守れたという学校環境をぜひ作っていただきたい。</p>
16	田辺中学校区	<p>小学校校舎が築50年近く、トイレの改修等は聞いているが、全体として早急に改善してもら</p>

No	中学校区	主なご意見
		<p>いたいという意見が多い。</p> <p>私は地域の自治会組織に入っているが、小学校児童を巻き込んだ色々な地域との行事が結構活発。地蔵盆や夏祭りがPTAの方々がやられており、また、地域のお年寄りとの交流も図っている。</p>
17	田辺中学校区	<p>大規模校は運動会に保護者全員が参加できない。発表会も全学年同時にはできないので、保護者であっても学校内に立ち入れない特殊なスペースになっている。このような状況のなか、地域の方との交流も十分できていないのではないかと思います。</p>
18	田辺中学校区	<p>三山木小学校に関しては早急に対処しないといけない問題だと感じる。これまで大きなケガがないのは、先生方やPTAの努力のおかげだ。</p>
19	田辺中学校区	<p>三山木小学校に関しては、新設校の設立という声が多い。ただ、土地がない、お金がかかるといっているのであれば、小中一貫校として設立してはどうか。もしくは低学年における分校の設立、あるいは校区変更という意見が保護者から出ている。</p> <p>それ以外でも、たとえば校区変更が難しく他校区への移動（選択制度）とするのであれば、スクールバスの導入を行ってほしい。保護者等の送迎前提の話ではなく、スクールバスの工夫ができないか。</p> <p>なお、普賢寺小学校への入学を検討した保護者もいるが普賢寺小学校には学童がない。それを理由に断念したという方もいた。そういった設備が全市で統一されていれば、他の学校を選ぶ選択肢ができるが、現状では学童がない違いがあることで利用できないという方がいる。</p>
20	田辺中学校区	<p>学校選択制度について、選択されるにはそれなりの特色がなければ、わざわざ校区を変更する、あるいは送迎してまで子どもをそこにやるかとなると疑問である。保護者がどんなニーズをもって、どんな学校なら行かせるのか、まず保護者がどういう意識・意向を持っているかを調査されたい。</p>

No	中学校区	主なご意見
2 1	田辺中学校区	<p>普賢寺小学校は非常に児童数が少ないことで、全校児童が現状で109名のうち、特認校制度で来ているのが68名で、地元の子は少ないが、地域外から特認校で学びたいという子がたくさん来ている。</p> <p>少人数であることを、いかにデメリットを防いでいくかがメインとなっている。中学に入学した時、クラスに2人位しか同じ小学校の出身者がおらず不安だということもあった。</p> <p>地域との関わりについて、学校運営協議会の発足時にはいろいろとあったが、先生方やPTAの方々とか、地域の方と交流することを増やして、地域の方が地域外の子どもも、自分の地域の子どもだと言えるような取り組みをしてきている。特認校で地元の子は少ないが、努力をしてきた経緯がある。</p> <p>偏在について、小中一貫校、例えば、一部の小学校を小中一貫校にしてしまえば中学校の偏在も減る。ただ、普賢寺小学校で受け入れられればいいが、教室数が足りない。</p> <p>学童の件は学校運営協議会でも確かに出たが、今現在、学童がない状態でちょうど18人前後をキープできている。35人が平均学級でその約半分18人が小規模特認校としての適正人数と聞いている。もし学童を設置すれば、普賢寺小学校に行きたいという子はおそらく増えるだろうという意見は出た。その時は抽選になる。抽選に外れた子どもと親御さんの気持ちを考えると、小規模は18人が目安なのに、せっかく来たいと言ってくれているのに、抽選に外れたというのは申し訳ない。今現在学童がない状態で、少人数、自然にあふれた小学校に来ていただいている子をキープしていけるのであれば、とりあえずはそれでいこうと話は出ていた。</p> <p>あまり抽選にはしたくないということもあって、学童には踏み切れていない部分もあると、個人的には思っている。</p>
2 2	田辺中学校区	<p>現在、普賢寺小学校PTAでは、学童の話が出ているので補足する。</p>
2 3	田辺中学校区	<p>京田辺市は人口8万人くらいを目指しているということだったが、8万人で中学校3校となれば、これは偏在の操作だけで解決できるのかどうか不安に思う。近隣の精華町は人口3万6千人</p>



No	中学校区	主なご意見
		<p>で中学校3校、城陽市人口7万4千人で5校、八幡市人口7万人強で4校、交野市人口7万6千人で4校プラス私立1校で5校、京田辺市7万2千人で中学校が3校ということで、この先8万人までの間、この3校だけでやっていけるかどうか、ちょっと不安だ。今から建てるか、それともこの3校で均衡よくやっていくのか、その辺はよく検討してほしいと思う。</p>
24	田辺中学校区	<p>培良中学校で学校選択制度を導入することとしているが、同校が普通の中学校レベルになった時に特色ある教育活動ができるのか。小規模のメリットが失われて、結局選択する生徒が減るといふ悪循環が出てくるのではないかと。この方法が悪いというのではなく、この方法だけに頼ってしまうと、人数が集中した時に制限を設けることになるのではないかと。別の方法も検討しておいた方がいいのではと思う。</p>
25	田辺中学校区	<p>地域と学校が連携しながら、地域の皆さんの協力を得て、子どもたちの登下校を見守っていく。下校の時間帯はだいたい同じなので、その時には、子ども110番の家になった所は意識をもって見守りをされていたら、子どもたちは安全に、少しでも守れるのではないかと感じる。</p>
26	田辺中学校区	<p>田辺小学校は横に田辺幼稚園があるが、それが来年度以降、入園がないということで、そうすると閉園ということになる。今まで田辺小学校が良かった理由の一つとして、小学校と幼稚園がすぐ隣にあって、低学年の子どもを連れて、そのまま幼稚園に行かせている子どもを迎えに行けるというメリットがあるという話を、色々な方から聞いていた。これが私立の聖愛幼稚園とか、みみづく保育園のほうでフォローするという形になっているが、田辺小学校から聖愛幼稚園はともかく、みみづく保育園は距離もあり、そこを低学年の子を歩かせるのは大変だと思う。</p> <p>安全ボランティアの話が出たが、私自身は地域の活動もしていて安全ボランティアをしている。一方、PTAではそこまではボランティアとしてできない状況になってきている。働かれているのでなかなか参加できない。となると高齢者の方に寒い中出してもらっている。これはどこの地域でもあるのではないかと考えている。ボランティアということに拘らず、地元の中で話をし</p>

No	中学校区	主なご意見
		<p>ていたのは、一家庭何百円か募って、アルバイトという形でやっていただく。ボランティアというものに頼りすぎるのもいかなものかという考えもあるし、やはり年配の方からもう少し何とかしてもらえないかという話も出てきたりしている。その辺も少し考えていってもらった方がいいとも思う。</p>
27	田辺中学校区	<p>孫が田辺中学校に通う予定だが、地域からの同級生は一人だ。そういう地域に住んでいる。中学校の会議に出ると、校長先生から、だんだん生徒数が増えて自転車置場が狭くなってきていると話される。学校によって、にぎやかさも全然違う。培良中学校が特認校になることは知らなくて、そういうことはもっと地域の人に知ってもらえるように、もっと選んでもらえるようにすべきである。</p> <p>田辺中学校は仮設校舎が建ち運動場が狭くなった。私見として、同志社山手地域に新設校を足れば交通事故も減ると思う。</p>
28	田辺中学校区	<p>新設校を建てるだけだと、地元の方でもお金がかかりすぎるという意見がある。20年30年先に子どもの数が減って、その場合はどうするのかという意見もあった。出ていた意見では、例えば同志社山手地域には、子どもだけではなく一般の居住者もたくさんいるということで、将来的には図書館などの市の施設に移行していく、そういう前提での建物を設けるとか、逆に言えば老人は増えていく形になるはずなので、ただ小学校、小中一貫校のためだけでなく、そういうことを見据えた建物をつくってはという意見があった。</p>
29	田辺中学校区	<p>現在、田辺中学校の生徒が非常に多く、このあと20年位は多くなるということだが、現状で言えば培良中学校で吸収する必要があると思う。いかに培良中で吸収できるか、校区内選択校みたいな考え方でやってもらったらどうか。また、三山木小学校は、分校を建てたらという話も出ているが、現実的には非常に時間がかかるので、コミュニティや交通の問題があるが、田辺東小学校、あるいは草内小学校、普賢寺小学校の3つで吸収するような考え方はどうかと思う。現実</p>

No	中学校区	主なご意見
		<p>的にはそういう解決の仕方もあるのではないか。</p>
30	田辺中学校区	<p>田辺中学校の生徒がこれからも増加していくなか、培良中学校で吸収するとなると小規模校という特徴が失われるのではという問題がある。ただ、田辺中学校の増加も解消していかなければいけないので、ある程度の人数が来ても、培良中学校の魅力が保護者や地域の方に伝わるようなことも考えていって、そこは提示していただいた方がいいと思う。</p>
31	田辺中学校区	<p>今回の学校選択制度も含め、市の施策の情報が市民に伝わっていない感がある。お金や時間をかけてでもしっかり伝える必要がある問題だと思う。</p>
32	田辺中学校区	<p>特定の学校に対するイメージというのは地域、保護者の方の中には存在していると思う。田辺東、三山木、普賢寺、草内で培良校区にするという意見もあるが、検討に際しては校区が変更になるということを前提に、イメージの刷新を行うのも案としてある。</p> <p>保護者からは元同志社大学の土地を利用してほしいという意見も聴いているが、今は<u>京田辺市の土地ではなくなって、一般企業が購入したと聞いている</u>。こういう事態は10年前くらいから予想ができたのに、なぜあの土地を残しておかなかったのだろうと思う。</p>
33	田辺中学校区	<p>小学校に進学する前の世代の保護者も不安が募っている。三山木小学校に通わせることがとても不安だという声が多い。普賢寺小学校やシュタイナー学校の見学者が増えていると聞いている。例えば発達障害という診断を受けていなくてもグレーゾーンであるとか、とても繊細な子がマンモス校に行き、果たしてついて行けるのかということで、普賢寺でのびのび育てたい、普賢寺に行きたい、でも抽選で落ちてしまった、じゃあどこに行けばいいのか。ということが本当に心配な要素としてある。そういう不安を抱えている子たちが、将来不登校につながるのか、その不登校の対応をどこまでしてもらえるのかとも思う。</p>

No	中学校区	主なご意見
34	田辺中学校区	<p>普賢寺小学校に子どもを特認校制度で通わせているが、実際に通わせてみてやっぱり少人数は良かったと感じている。少人数という特色を持たせた学校ということで残していく分には、全然問題はないと思う。むしろそれが特色となって、行きたいという人が一定数いると思う。ただし、過大規模校というのはすごく問題は深刻だと思う。少人数であることの問題より、はるかに大きな問題だと思うので、とにかく早く、大規模を何とか減らすことは重要だと思う。</p> <p>先ほど近隣市町の人口と中学校数の紹介をしてくださった方がおられたが、それを聞いて、やはり中学校がそもそも足りていないのだなと感じた。8万人の人口を想定してまちづくりを進めていくとなった時に、中学校が3つで、他の市町はもっと4つ5つある。小学校は、三山木小学校は過大規模校になっているけれど、反対に田辺東はどんどん人数が減っていく学校がある。その偏在を何とかしようということよりは、偏在は別にあってもいいと思うが、少ない人数であれば少ない人数なりの特色を持たせた学校にすればいいだけで、ただ、過大規模校の問題はなんとか早く解決しないといけないと思った。三山木小学校の人数を何とか分散するために、小学校を新設することも含めて積極的に考えてもらいたい。</p>
35	田辺中学校区	<p>かつて田辺中学校が1学年あたり10クラス位あり、培良中学校ができた。現在の田辺中学校が9クラス程度ということで、具体的に何か手を打たないといけない時期と思う。三山木小学校もクラスが多いということは、やはり具体的な対策をしないといけない時期にちょうど来ているのではないか。</p>
36	田辺中学校区	<p>古くからの三山木小学校区の地域のなかで、これまでも培良中の方に行くという話があった。校区変更の話が出ると、「もってのほかだ」、「三山木の歴史を何する気か」、「この地域はここに三山木小学校あつての地域である」「現役のPTAの方よりも、祖父母の我々のような年代が歴史を壊すようなことをしてもらったら困る」というような声があり、いつの間にか立ち消える。まだまだ、三山木も古い地域と新しい地域が混在しており難しいところがあると思う。そういう意味で、培良中が自由に選択できる、個人で行けるといことはありがたいことだ。どこかで線</p>

No	中学校区	主なご意見
		引きをしてということになると、やはりまだまだデリケートな問題が残っているのは事実だと思う。
37	田辺中学校区	<p>校区変更については保護者間でも話に出るが、変更に伴い別の学校へ行くこととなる地域の方は納得がいかないという意見がたくさんあった。今在学している子たちだけではなく、地域の方の感情の問題もある。</p> <p>また、在学している子たちの問題、途中から学校が変わった場合のPTA役員の問題もある。学校が変われば2回役員をやるということにもなりかねない。その他、下の子は新しく入るから新しい小学校に移ってもいいけれど、上の子はもう5年生という時に、両方一緒に動かすのか。残ってもいいと言われても、兄弟別々の学校になると不安なこととか、兄弟一緒に通うから通学路が安心ということもある。</p> <p>三山木に関しては、地域のつながりができなくなってきている。運動会の型体操とか、地域の方に教えてもらおうイベントもあったが、それも皆無になってきている。</p>
38	培良中学校区	<p>小規模校が良いと感じるのは、先生方の目が届いていると感じる点にある。地域と各学校との関わりは田辺東小学校では少ないのかなと思う。PTAの役員になる方は少ない、人数が少なくてなかなか決まらない、そういったところは気を付けた方が良い。特に役員関係、PTAをやるうえで、やりやすいやり方、役員に押し付けてしまうのではなく、いろんな形で関われるようになるとよい。偏在は今更な感じがして、校区を割るのは目先の話である。極端に松井山手や同志社山手は開発していて人口が増えるが、5年10年すると減ってくる、区割りではなく、各中学校3つ特色を持たせて、どこからでも通えるようにするのはどうか。</p>
39	培良中学校区	<p>魅力がある学校は、誰が聞いてもわかるような特別なものを持ってほしい。学校を選べる形になっても、培良中学校に行きたいと思ってくれる生徒さん、親御さんがおられるか。現在通っている方の話聞くと、培良中学校は落ち着いていい学校になっていると聞かすが、加えて特色ある学</p>

No	中学校区	主なご意見
		校になってほしい。提案として、心理学の面から、「子どもの心の部分を特に大事にする学校」というのはどうか。学校に行けなくなる問題が、そのお子さんにあるとは限らなかつたりする。もう一つ、てっとり早い方法としては、田辺高校の人気があるのは制服が素敵だからで、制服を替えるのもよい。
40	培良中学校区	公立学校で、どこかの学校が良くて、どこかが悪いというのは良くないと思う。市立であれば、ほぼ同じだということで、小規模だから特色は出せるということがあるかもしれないが、そこに行っている生徒はある意味良いが、PTAでは役員の選出が難しいなどデメリットもあるわけで、全体で見て同じにしようと思えば、線引きを変えなければならないと思う。今年、来年、再来年でコロコロ変えると混乱が生じるので、10年くらいを見通して、どう区切るかと検討すれば、できるのではないかと考えている。学校が遠くなる生徒が出てくれば、教育委員会が何らかの補助をすればいいのではないかと考えている。教師の側から見ると、小規模だから特色が出せるとなれば、大規模なら特色は出せないのかとなってくる。通っている生徒、親がかわいそう。公立の学校であれば、どこに行っても同じ教育が受けられるべきである。平等で、同じような小学校、中学校にしていきたいと個人的には思っている。
41	培良中学校区	培良中学校では部活動の人数が少なく、外部のクラブチーム等に散らばってしまう。培良中学校区の子どもたちがサッカー部に入りたいからと言って、今は違う学校が選べるのか。 強化できない現実があるので、人も集まらない。勉強を重視した学校にすると、勉強の苦手な子どもは行きたくないかもしれない。子どもの目線からすると魅力が少ないと思ってしまう。
42	培良中学校区	田辺東小学校の児童は少ないが子どもたちは明るく挨拶を一人一人してくれて、元気よく走り回って、いい子がたくさんいる。しかし、一人一人どこか悩んでいる子どももいる。PTA的には仕事内容を減らすように話し合ったり、地域委員の負担の話もしているので、少しずつPTAの仕事も先生たちとやりやすいように考えている。培良中学校に関しては、サッカーしたいから

No	中学校区	主なご意見
		<p>と言ってすぐに集まるものではないと思う。制服の意見もあるが、子どもたちの流行りのインスタ映えみたいなの、学校に大きい作品みたいなの、そういうのがあったら少しはいいのではないかと考えている。エコにかかわった作品をみんなで作ったら、子どもたちも達成とかかできるので、そういうので学校を盛り上げてほしい。子どもたちの心が成長してほしい。コロナの中で、イベントがなくなっている。地域との挨拶、話をする機会、触れ合う機会がなくなっていて、昔みたいににぎやかな状況がなくなっているの、徐々に増やしていけば子どもも明るくなるし、ここに来たいと思える地域を作っていくのが、まず私は良いかなと考えている。</p>
43	培良中学校区	<p>培良中学校は小規模だけど一人の役割が重要視されている。運動会の時もそうだが、リーダーになって引っ張る人、誰かが何かの役割になるので、細かく会議が行われたりして、何もやらなくてよい時は少ない。部活動でも息子はサッカー部で3年生だが、その代は部員が2名だった。クラブチームに流出してしまっている。公式戦では合同チームを作って、山城大会に出た。先生の指導力も温かいものがあったし、指導してくれる教員でなくても、経験者の保護者が、放課後1時間でも顔を出して、先生が忙しい時に大人の目が1時間あるだけで助かるという話も校長先生にもした。ただ、校長先生は、地域の人と関わりたいが、学校から保護者や地域の方へお願いするのは気が引ける部分もあるとおっしゃっていた。保護者としては、もっと助けてほしい、協力してもらえたらうれしいということをおっしゃっていただいたら、やりがいもあつたらうと思う。制服に関しては、白の薄手にニットのような感じ、遠くからシャツだがポロニットみたいな長袖、半袖の白シャツ、チェックのスカートだが、女子が夏に長袖に下着が透けるからと言って緑の濃い冬のベストを着て登下校する。熱中症のおそれもあるので保護者はやめてほしいというが、女子は1年中ベストを着ている状態は問題だということで、生徒会が動いて、保護者も意見を言って、夏のシャツの色を変えてはどうかとなった。そして、紺色のポロシャツが起用されることになった。令和6年から入学する方は白でもよいが紺色も起用される。卒業する子が改革したことだが、生徒も喜んでくれていると思う。今後、チェックのスカートも変えるとかについては、先生には、ただおしゃれになるからではなく、こういう素材でという企画を提案して、</p>

No	中学校区	主なご意見
		それが通る中学ではないかと個人的に感じた。
4 4	培良中学校区	<p>偏在とそのことによる特色化は、同時進行の議論は難しいと思う。田辺中学校はピークで1,200人を超える可能性がある。培良中学校は150人くらいに減っていく。何人がどうなれば偏在が解消されるのか、実際としては計算通りにはいかない、そこには子どもの思い、親御さんの思いもあるし、学校との相性もあるかもしれない。培良中学校は他地区からの受け入れの一方通行の形になっていくと思う。その時に培良中学校の顔の見える関係は、子どもたちが必要としているものだと思うので、最優先に考えていった方がよい。同時にそのことよっての特色化は、指導要領を超えないということでは魅力のあるものにはならないと思う。指導要領は基本として国の方針で、ただ文科省はその時代に合った、地域に合ったものに変えていってもよい、変えていいと通達して、指導要領にとらわれることはないとしているので、審議会、教育委員会の方でも話をしていただき、考えていただきたい。残念なことに不登校も多いので、その辺のことも考えていただければと思う。</p>
4 5	培良中学校区	<p>学校間で、どういった活動を生徒や父兄が行っているか交流を通して知る機会があればいいと思う。特色をそれぞれに出すとか、学校間である程度競うとか、そういう形ができないか。先生方、父兄も交流する、中学も同じようなことをして、培良中学がどのようにやっているか、アピールしていく中で、偏在、学校間の良い面が出てくるのではないかなと思う。</p>
4 6	培良中学校区	<p>だんだんに子どもが少なくなって、培良中も田辺東小学校もどうなるかと、不安な思いが保護者からも聞かれる。特色ある取組としてeスポーツ等進められているが、個人の意見は、周りは田んぼがあったり自然の環境もあるので、そういう中で、多数の人数では意見を言えない子どもがゆったりした校風で発言したり、新たな力が発揮できるような特色が出せる学校になったらよいと思う。ここならゆっくり来てみようかと子どもが思える、クラスも積み込みにならないように、特色を兼ね備えた学校づくりをしていただきたいと思った。</p>



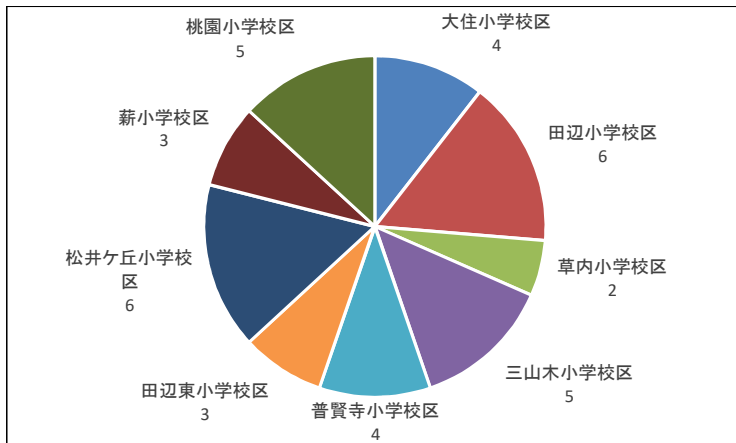
No	中学校区	主なご意見
47	培良中学校区	<p>田辺東小学校・培良中学校では偏在解消の話はこれまでなされてきたが、急には難しい。まずは今の生徒数の減少を食い止めるということを目的とした対応に努め、長い目で見て丁寧に皆さんからご意見を聞いて対処していくことを目的としてはどうか。いろんな意見が出てくるだろうし、子どもたちも少人数だからと言って、この学校が嫌だとは思っていない。毎日楽しんで通っている。少人数の良いところはある。偏在解消も大事だが、何を持って解消かということもある。</p> <p>今の人数が少なくならないように、廃校となるのは関係者としては残念。地元に戻ってきて母校がないのは寂しい。廃校となると帰って来るふるさとがなくなる。長い目で見て廃校を食い止めなければならない。</p>
48	培良中学校区	<p>偏在の解消に関しては数合わせの考えが重要ではないか。これまで数合わせの対応を行って不都合があった、これからもということであれば説明してほしい。培良中学校に関しては、(受入れ校として) 一方的に縛ってしまう感じがして、それでよいのか疑問がある。</p>
49	培良中学校区	<p>小規模校の田辺東小学校については、「最も子どもたち一人一人を先生が把握できる学校」といった特色を付与しては。</p>
50	培良中学校区	<p>(培良中学校区に関して、学校選択という手法を進めることとなれば他校区から児童生徒を受入れる校区になると思うが、その点については?) 基本は来られる方を拒まず、この校区のこれまでの文化も大事にしてはと思う。</p>

## ■アンケート調査結果

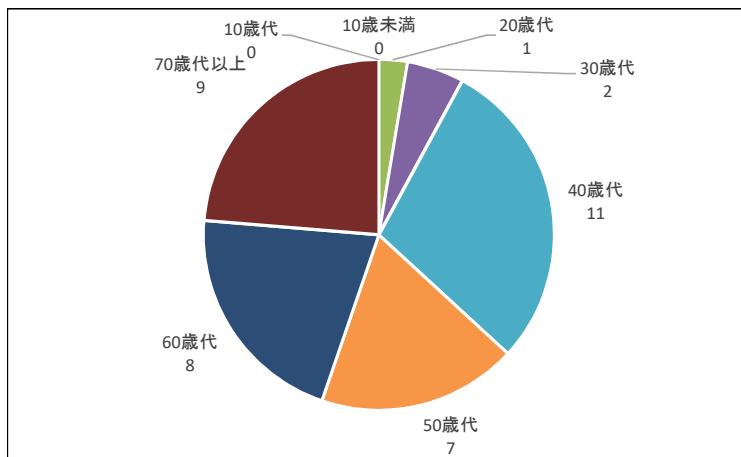
地域別懇談会当日、各会場の参加者及び傍聴者にアンケート調査票を配付し、回答があったものを集約している。

### 1 お住まいの地域小学校

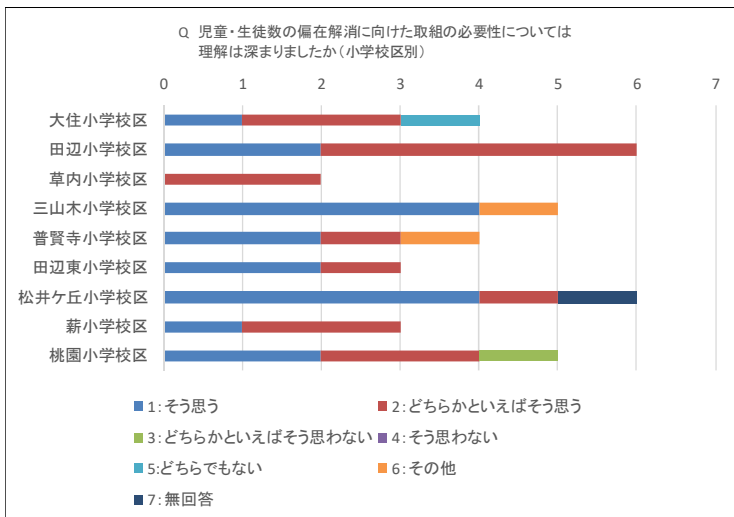
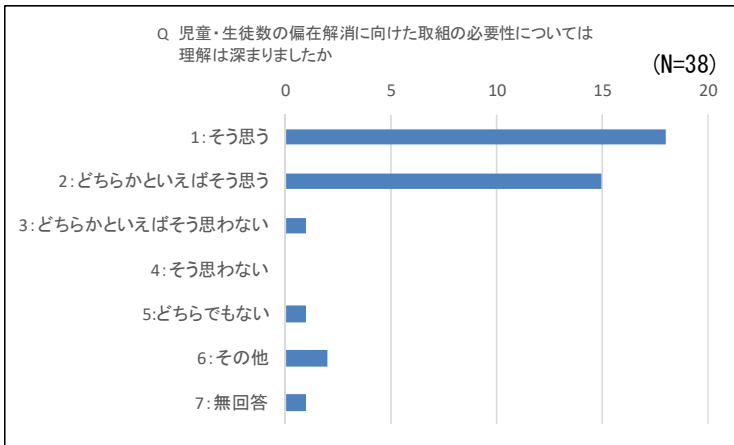
(n = 38)



### 2 ご年齢



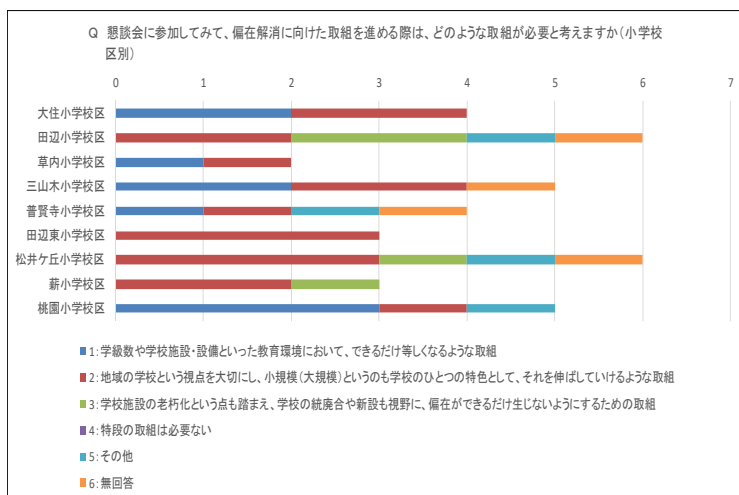
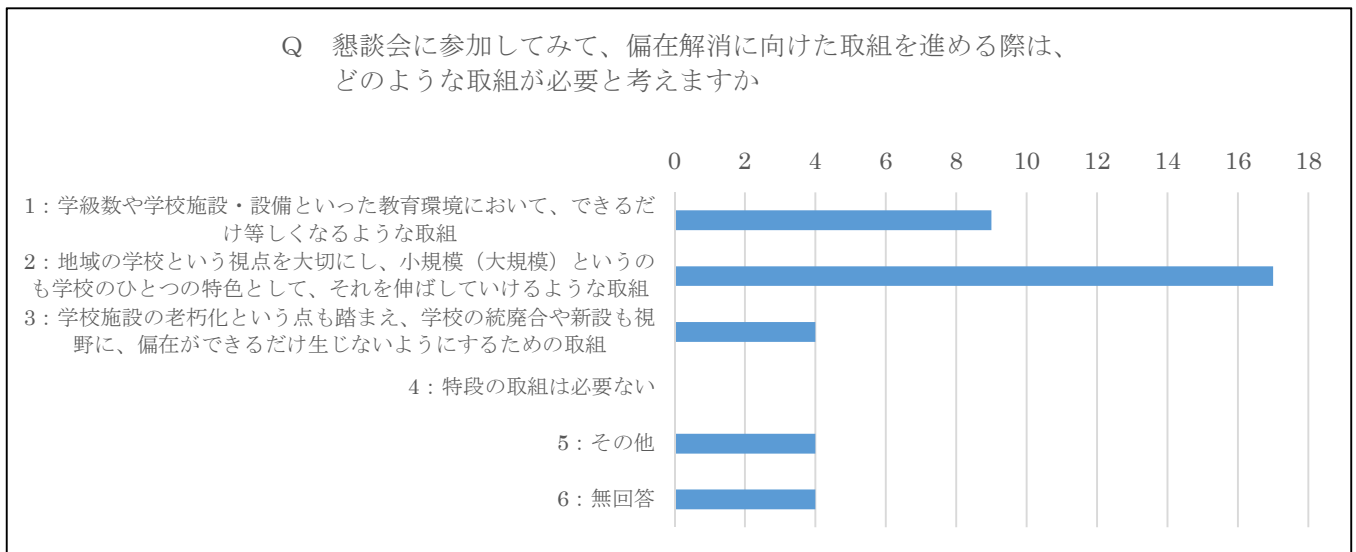
3 懇談会に参加してみて、小・中学校の児童・生徒数の偏在解消に向けた取組の必要性について理解は深まりましたか。



(その他)

- ・自宅は三山木校区にあり、三山木小学校のマンモス化に関わる問題を以前からよく耳にしていました。早期に解決すべきと思います。(普賢寺小学校区、50歳代)
- ・必要性があるが早くに解決する方向に向いていないと感じる。審議会はその役目を果たしてもらいたい。(三山木小学校区、70歳代)

4 懇談会に参加してみて、偏在解消に向けた取組を進める際は、どのような取組が必要と考えますか。



(その他)

- ・ 地域との連携
- ・ 地域選択など区域を越えて選べるのも良いかと
- ・ 小学校に関して偏在解消は学区制を止めて選択制にしては
- ・ 偏在そのものが問題というよりは、学校の規模が生徒数に見合わないことで問題が起きていると思う。少人数のデメリットは学校が維持できないような人数に減って廃校になってしまうような状況にならない限りほぼ問題にならないように感じる一方で、過密の問題は深刻で早期に解決すべきと強く思う。要するに小規模校は特色として残していくのは良いと思うが、過大規模校はすみやかに新設校をふやして生徒数を分散させるべきと考える。

5 その他、偏在解消に向けたご意見・ご要望などがあればご記入ください。

- ・大規模・小規模学校双方に課題がある事を理解した。あるべき姿と現実面との乖離はあるが、現在解消に向けた議論は必須。地域との関わりについて課題解消も必要（松井ヶ丘小学校区、60歳代）
- ・学校選択制度を活用すればいいのではないか（桃園小学校区、60歳代）
- ・大住小学校への編入 大住ヶ丘4，5丁目を桃園小学校区から変更区割の地域として、自治会も大住ヶ丘連合自治会として存在する通学区として。通学としては、山手幹線をクリアすればよい。人員は今現在変更したらどれくらいになるのか（大住小学校区、70歳代以上）
- ・問題点を挙げられたのは良かったと思いますし、要望が挙がったのも良かったと思いますが、それがどう繋がっていくかはわからないと思いました。（田辺小学校区、50歳代）
- ・中学校に上がる際、特定の部活を選ぶため学校を自由に変えられるようにして欲しいです。全部の学校に同じ部活があるならいいのですが、現状違うと思います。（桃園小学校区、40歳代）
- ・子ども達にとって、より良い環境になる事を願っています。よろしくお願い致します。（大住小学校区、40歳代）
- ・三山木小学校 PTA の方のお話に深く共感しました。現在、4歳、2歳の子がいますが、まだ入学していない世代のママ達の間でも不安の声しかききません。子供達を安心して学校に通わせられる具体的かつ現場目線の対策の実現をお願いします。特認校を普賢寺以外、草内や他？に増やすことは可能なんでしょうか？同志社山手からも普賢寺に通えるスクールバス、普賢寺に特認で入れたくても抽選で落ちたらどこにいけばいいのか？他に特認校を増やせないか？（三山木小学校区、40歳代）
- ・報告書のデメリットの解消と保護者へのていねいな説明意見を聴く機会を早急に持つべし。（薪小学校区、70歳代以上）
- ・近隣市町の人口と中学校数のデータを紹介されたのを聞いて、やはり8万人規模のまちづくりを考えた時に中学校が3つというのは少ないと思う。（普賢寺小学校区、50歳代）
- ・人数やどこまで選択できるかの枠を早く決めて、方向性は既に決まっているようなので、動けば良いと思う。（田辺小学校区、40歳代）
- ・当面、培良中、田辺中、三山木小の過大は早急性を求める。特色性、多人数の問題、新設問題。審議会が一問一答される必要はないと思う。（三山木小学校区、70歳代）
- ・校区きめ（変え）はイヤです。（普賢寺小学校区、50歳代）
- ・とにかく徹底して特化した選択校が必要。そして目に見える形でその成果、実績を通して市民に認知される選択校の実現に努力してほしい。（田辺小学校区、70歳代）
- ・権利の偏りや危険のない方法にしてほしい。（三山木小学校区、40歳代）
- ・学校交流を進めてはどうか（教師・PTA・生徒レベル・部活、サークル活動を含めて）（薪小学校区、60歳代）
- ・地域とのつながりも含めた検討を望みます。（田辺小学校区、60歳代）
- ・「偏在解消」という言葉だけに執着せず、様々な意見を集め、中には解消を求めている

い方もあると思うので、その意見も聞き、ゆっくりでも良いが丁寧に進めて頂きたい。

(田辺東小学校区、40 歳代)

- ・ブロック制の導入 (草内小学校区、60 歳代)
- ・偏在解消だけにとどまらない内容と感じました。自殺が多く、幸せを感じられない今の日本で小学生の時に心を大切にされた思いが救いになると思うのです。やはり心特区考えて欲しいです。(田辺東小学校区、50 歳代)